

特集

ティーチング・ポートフォリオ
で得られること【対談】ティーチング・ポートフォリオ・チャートは
教員に何をもちたすか——ワークショップに参加してみ

北浦益代・栗田佳代子

教育の質を問うティーチング・ポートフォリオを

あらためて俯瞰する 栗田佳代子

大学全体で取り組むティーチング・ポートフォリオ

末次典恵

看護学部で取り組むティーチング・ポートフォリオ

宗正みゆき

教員の活動全体を可視化し振り返るための

アカデミック・ポートフォリオ 吉田 星

【特別記事】

本校の看護専門学校 4 年制化への道のりと展望 森内みね子

島嶼保健看護の高度実践看護師教育の実践 [前編] 神里みどり他

【連載】

授業を良くする！ 教育関連理論・2 西野毅朗

専門家と市民の架け橋 CoSTEP・5 種村剛

リズムとからだ「うまくいく」と「うまくいかない」の謎・8 伊藤亜紗

すべて、転んで、立ち上がるために 看護職生涯発達学から・8

佐藤紀子ほか

編集後記

●今号から西野毅朗先生の「授業を良くする！ 教育関連理論」の連載が始まりました。読者の皆さんが学んだ看護理論も同じでしょうが、理論は実践に活かさなければ意味がありません。けれども、それが難しいから、誰もが「理論」と聞くのをひそめるとか、その点を考え、西野先生は専門学校の先生方とコラボして、実際の授業に理論をどう載せていくか、理論のどこを授業に使えるかを、実際にやっていただながら、執筆を続ける予定です。●誌面上には3人の先生をモデルとして登場させていますが、そのバックにはもっとたくさんの方の先生方が重ね合わさっています。ですので、3人のなかで自分ともっとも近いと思われる先生の気持ちに添って読んでいただければ、理論が、理解しにくいところも含め、より身近に感じられるのではないかと思います。ご期待ください。

……大野

●10年ぶりくらいにドラゴンクエストに取り組みました。ストーリーやキャラクターが魅力的で楽しめた一方で、取り組んだ、と言いたくなるほど膨大な作業で時間がゴリゴリと削られていきます。ドラクエには、弱い敵でレベルを上げ、相応のボス＝課題を倒し、進行とともに敵も強くなっていく、という基本的な流れがあります。段階的な学習の典型とも言えるでしょう。●もちろん現実では、自分の成長に合わせて課題が強くなっていくわけではなく、もっとも手ごわい課題が案外身近にいることがよくあります。とはいえ、それを課題と認識し、対処していく能力には、やはり段階的な成長もあるのかな、という気がします。明日の仕事に備えてゲームの電源を落とすことができるようになった、10年の成長(?)と寂しさも感じつつ。

……番匠

◎編集室ツイッター

<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第58巻 第10号 2017年10月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2017年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、電子版／個人15,540円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/17/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.58 No.9

2017 年 9 月
特集

学生とつくる授業 学生がつくる授業

「教育者主体」であった教育機関は、いま「学習者主体」に大きく変わろうとしています。教員はただの「教える」存在からの脱却を求められ、教えられる存在だった学生が、自ら学ぶ存在へと立場を大きく変えることとなります。当然、看護教育においてもその流れは同じです。

実際、学生が主体的に学ぶ試みとして、「学生参画型教育」を取り入れる学校が増えてきました。文字通り、学生自身が教育に参画する方法で、広くは先輩による後輩指導や、PBL などのようなグループワークも含まれます。さらに学生主体を突き詰め、「授業」そのものを学生につくらせ、自らが学ぶということに引き合わせるという方法をとる例も現れてきました。今回は、そんな「学生とつくる授業」「学生がつくる授業」の取り組みの実際を紹介しします。

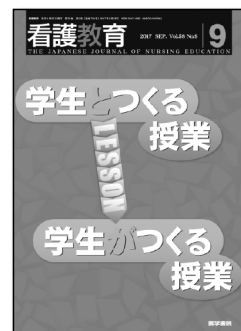
ここでは、学生が授業をつくる状況にまで導く教員の力が必要です。従来の講義中心の授業よりも、時間も手間もかかるかもしれませんが、自立した学生を育てるために、学生「と」つくる授業へ、そして学生「が」つくる授業への発展に、ぜひトライしてみてください。

■ 学生の「学び方」の意識を切り替える授業
——入学時ガイダンスに焦点をあてて……水方智子／大谷弘恵／山之内由美／木村緑

■ 学生が主体的に動くことで、授業はどう変わるのか……甘佐京子／米田照美

■ 精神保健における、学生とともにつくる授業——協同学習の取り組みの現状と課題……鈴木啓子／平上久美子／鬼頭和子／新里美智子

■ 学生がつくる授業は何をもたらすか——「恋する学問」をととして……三浦真琴／松田昇子



Vol.58 No.8

2017 年 8 月
特集

「読む、書く、話す」で、教育力の充実を

入学生の「読む、書く、話す」能力が、授業に参加するには不十分であると感じることは少なくないでしょう。そのため、初年次教育として、それらの能力を高めるためのプログラムを取り入れる大学、専門学校は近年増加しています。これはつまり、学生がそれまでに学んだことだけでは、専門教育についていくには足りないという判断がなされたことです。翻って、教員としての「読む、書く、話す」能力は、その先生がそれまで学んだことで足りているのでしょうか、教育者として授業を行うのに十分でしょうか。ただ、看護師の先輩としての立場のみで「教育」にあたっているのではないのでしょうか。

大学では、設置基準の改正により、今年度より教員を含む SD (Staff Development) が義務化されました。自分が学生や院生として、あるいは専門家として学んだことだけで「教育」できるとする見方は通用しなくなります。当然専門学校においても、教員には同様な能力が求められるでしょう。弊誌ではこれまでも、看護教員の教育力 UP のための継続研修の必要性について取り上げてきました。教育技法や教育理論を学ぶことももちろん重要ですが、まずは教員としての「読む、書く、話す」能力の向上から始めませんか？それが教育力の向上にもつながります。今回の特集の筆者らが学んできた、そしてこれから学んでいくことを参考に、研修受講、研修企画を進めていただけることを願っています。

■ 「話す」能力向上のためにも、「読む」「書く」力の充実を……戸田山和久

■ 専任教員養成講習会における「読む、書く、話す」への取り組み……福岡公香／高口みさき／田口恵美子

■ 教員という立場から、自ら学んだ「読む、書く、話す」を見直す……古都昌子

■ 「読む、書く、話す」を学ぶ機会を得て考えたこと……日下部華苗

■ 「読む、書く、話す」力を身につけ、みがくために……山口みのり

■ さまざまな場で学んだ「読む、書く、話す(聞く)」を教育現場で活かすために……鈴木由紀子



第2特集 言葉の力

看護の岸辺で言葉の葉を想う 小玉香津子／【インタビュー】医療の言葉への危機と応援 外山滋比古先生に聞く／【インタビュー】同調圧力から脱却しつつ、生き延びていくための「言葉と勉強」——千葉雅也先生に聞く／【対談】気づける身体をつくること——実践のことは化をめぐって 諏訪正樹・大谷則子

【2017 年 7 月号 (Vol.58 No.7)】

リフレクションから授業研究
(レッスン・スタディ)へ

【2017 年 4 月号 (Vol.58 No.4)】

思考にきく発問

【2017 年 6 月号 (Vol.58 No.6)】

実践知の学びを再考する
“わざ言語”

【2017 年 3 月号 (Vol.58 No.3)】

学生のセクシュアリティに
向き合う

【2017 年 5 月号 (Vol.58 No.5)】

「楽しい」解剖学を求めて

【2017 年 2 月号 (Vol.58 No.2)】

キャリアを支援する赤十字看護
専門学校教員ラダー

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2015 年 8 月号 (Vol. 56, No. 8) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2015 年 9 月号 (Vol. 56, No. 9) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。